

スポーツ・ヘルスケア産業の可能性は無限大！ No.6



～沖縄でスポーツ・ヘルスケア産業の裾野拡大を図るために～ 【経済産業部】



協議会の様子

26日、同協議会の第5回運営会議が開催されました。会議の前半では、スポーツコンテナの海外輸出やビジネスマッチングの強化など、同協議会の

活動していくま

（2019年5月現在、会員数118社）として活動していくま

す。

去る8月

沖縄は温暖な気候を生かしたスポーツキャンプ地・合宿地として認知されており、また、バスケットボールの琉球ゴールデンキングスをはじめとする地域のプロスポーツチームも増えてきました。このような沖縄特有の背景に加え、全国的に広がっているスポーツ関連産業の成長産業化への活動を後押しすべく、平成29年度に「沖縄スポーツ産業クラスター推進協議会」を立ち上げ、県内外のスポーツ関連産業のステークホルダーを中心にして、ネットワーク形成を図ってきました。平成30年度からは更なる拡大を目指し、スポーツと親和性の高いヘルスケア分野を取り込み、「沖縄スポーツ・ヘルスケア産業クラスター推進協議会（2019年5月現在、会員数118社）」として活動していくま

す。



講師の川田氏

訴求力を増しておられるという
ことを事例を
交え紹介しま
した。また、
企業は「小さ
な取組であつ

川田氏は、企業ブランドのあり方として、社会システムの変革が進む中での企業活動においては「いかに社会や地域の課題にチャレンジしていくか」が重要だとし、消費者にとってもそのようなチャレンジは「社会的価値」として認識され、

ランディング代表取締役川田勝也氏を招聘し、SDGs※の活用方法について、ビジネスの視点から紐解く特別講演を開催しました。

川田氏は、企業ブランドのあり方として、社会システムの変革が進む中での企業活動においては「いかに社会や地域の課題にチャレンジしていくか」が重要だとし、消費者にとってもそのようなチャレンジは「社会的価値」として認識され、

訴求力を増しておられるという
ことを事例を
交え紹介しま
した。また、
企業は「小さ
な取組であつ

今年度の活動方針が報告されました。その後の意見交換では、長期的スパンでスポーツ・ヘルスケアビジネスをどう捉えていくかの検討が必要なこと、アマチュアスポーツ大会の県内実施がビジネス展開の可能性が大きいこと、eスポーツとどう絡んでいくのかなど、委員から様々な意見が出され、期待とともに課題も指摘されました。

協議会では、運営会議で議論された意見などを踏まえ、今後の活動に活かしていくための検討を進めていくとともに、「飲食」「製造」「観光」など異業種との連携を促進するため、会員の更なる拡大を図り、現状の課題解決につなげていきたいと考えております。

また、会議の後半には、（株）S3ブランディング代表取締役川田勝也氏を招請し、SDGs※の活用方法について、ビジネスの視点から紐解く特別講演を開催しました。

※SDGs：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）2015年

9月に国連の持続可能な開発サミットで採択



講演会の様子



経済産業部 企画振興課
098-866-1727
(担当:仲西、上原)

<https://www.okinawashcluster.com/>

沖縄スポーツ・ヘルスケア産業クラスター推進協議会は、これからも沖縄のスポーツ・ヘルスケア産業の更なる発展に邁進していきます。

会員募集中！ 詳しくはコチラ

ても、個人の意識変革を起こさせるような成功事例を広く伝えていくこと」「各地域で自治体や他企業と連携することにより、よりインパクトのある事例を生み出すしていくことで新しい価値の創造につなげることができると参加者へ期待のメールを送りました。